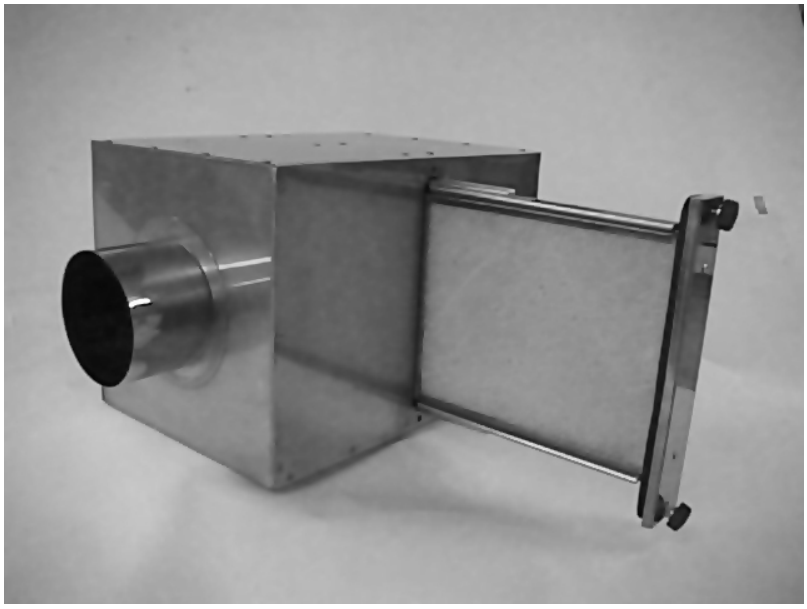
Doc.No.	EXT002S-01

yamada

設 置 要 領 書

フィルターボックスシリーズ

FB-5 ・ FB-6 ・ FB-7



⚠ 警 告
安全のため、本機の設置の前には必ず本書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解して下さい。また、本書をいつでも使用できるよう大切に保管して下さい。

YAMADA CORPORATION

はじめに

このたびは、弊社製品を御購入頂き、誠にありがとうございます。この設置要領書には、ご購入頂いた製品を安全且つ快適にお使い頂くための方法が記載されております。設置なさる前に、良くお読みになり、内容を理解したうえで設置・施工・使用してください。また、本書とあわせて、必ず同梱されている取扱説明書をお読み下さい。

なお、ご設置作業中にご不明の点、不具合などがありましたら、お買い上げの販売店、または、弊社各営業所までご連絡下さい。

★　設置要領書、取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付して下さい。

目　次

１危険・警告事項……2

１）警告・注意の定義……2

２）設置に関する注意事項……2

２．外観図……3

３．設置……4

１）装置の設置……4

２）配管の接続……5

１．危険・警告事項

１）警告・注意の定義

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守り下さい。

本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読み下さい。

⚠ 警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

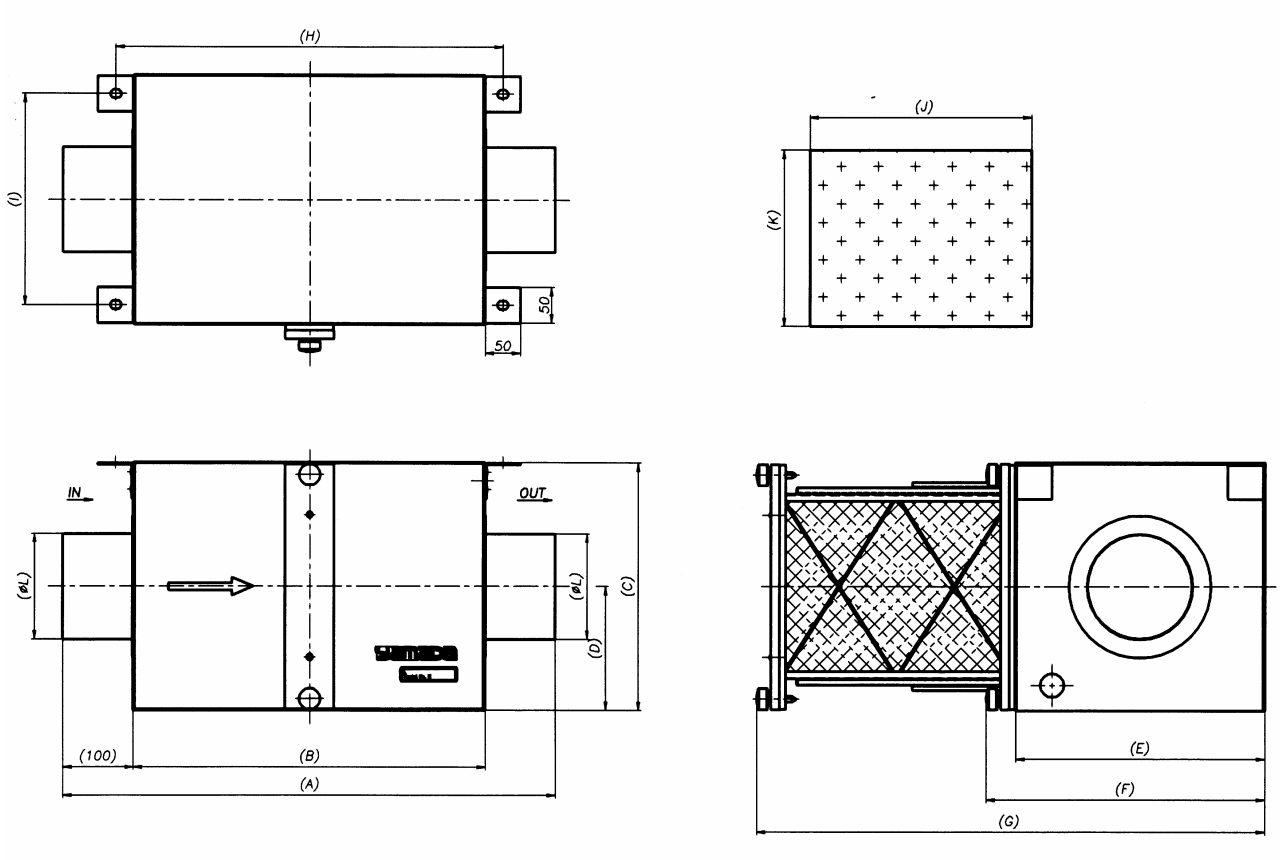
２）設置に関する注意事項

本製品の設置に関する警告・注意事項

⚠ 警 告
・高所での作業を行う場合、転落などの事故が起きないように十分注意してください。また、万一の場合に備え、作業する周辺にはむやみに物を置かないでください。 ・装置を天井などに取りつける場合は、装置を十分に支えられるような固定法を用いてください。固定が不十分であると装置が落下する可能性があり大変危険です。

⚠ 注 意
・装置の配管への接続は、仕様に記載される風量を超える場所を選定しないでください。故障・フィルター寿命の減少などの原因になります。 ・複数の排気リールにて 1 台のフィルターボックスを用いることはお止めください。故障の原因となります。 ・装置の設置個所は、排気リールとファンの間の配管にお願いします。ファン以後の配管に設置しますと、装置の故障の原因となります。 ・装置は水平になるように設置してください。故障の原因となります。 ・配管への接続はフランジに固定し、決して接続部の抜け落ちがない様に固定してください。 ・設置には、吊り金具を使用し、必ず吊り金具が上方になるように設置してください。 ・本機は、天井吊り下げタイプのフィルターボックスです。必ず、本体上部の金具を用いて、天井吊り下げにしてください。 ・本体前面のフィルタースライダーが完全に引き出せる所に、設置してください。 ・設置の際には上下、空気出入方向をよくお確かめの上で、設置を行ってください。 ・取り付けの際に、装置のフランジを変形させないように十分注意してください。排ガスの漏れの原因となります。

2．外観図

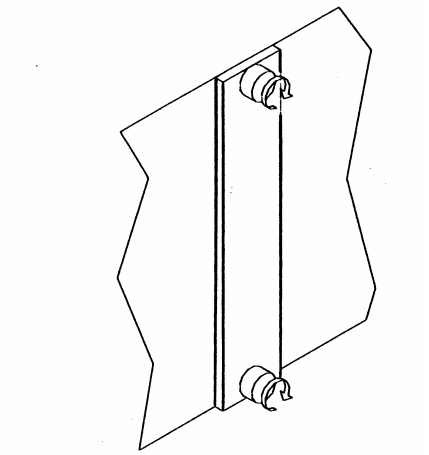


	FB−5	FB−6	FB−7
A	700	750	800
B	500	550	600
C	350	400	450
D	175	200	225
E	350	400	450
F	380	430	480
G	730	820	930
H	550	600	650
I	300	350	400
J	330	380	430
K	250	300	350
L	148	148	198

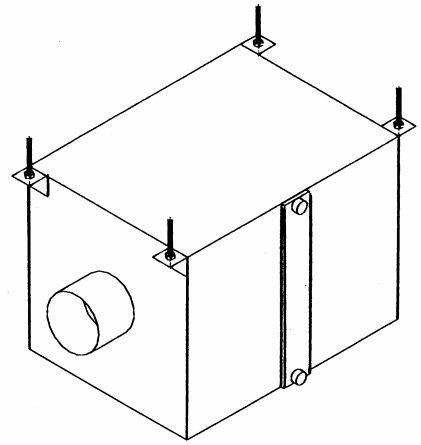
単位は全て mm

3．設置方法

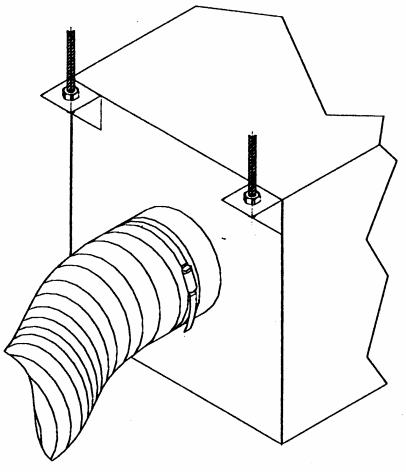
1）装置の設置



設置を行う際に、フィルタースライダーのローレットツマミが締まっているか確認してください。万一、緩んでいると設置作業中にスライダーが飛び出し、けがをする可能性があり大変危険です。また、重量物ですので、高所での作業には十分注意してください。

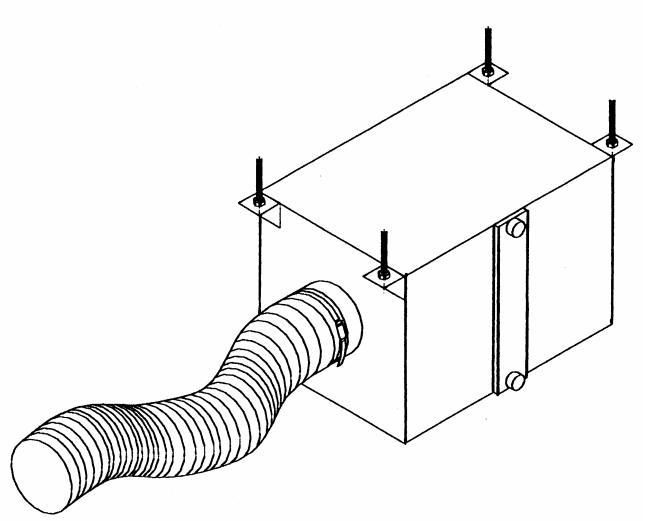


本装置の設置は、装置上部４箇所にある取付金具を用いて行ってください。設置にはM10 のアンカーボルトを使用してしっかりと固定してください。また、装置が水平になるように設置してください。装置が傾いていますと、装置内部に排ガス中のオイル分が溜まった場合、漏れてしまう可能性があります。

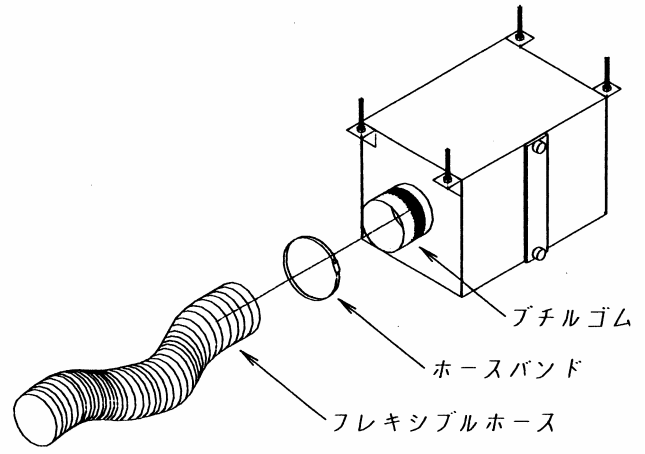


本装置には、装置内の気流の方向が、あらかじめ決められています。装置正面（スライダーのある面）の左から右へ処理ガスが流れるように設置してください。（製品には、ディレクションプレートが貼り付けられています。その方向に従ってください。）

2）配管の接続



本装置の内部点検時や、故障などが発生した場合、前後のダクトを取り外し、作業を行います。装置への配管の接続は、フレキシブルダクトなど、取り外しが可能なダクトを用いてください。



フレキシブルダクトのフランジへの接続は、ホースバンドなどを用い、点検時など必要なときは、取り外せるようにしてください。ホースバンド以外に、接合部分にブチルゴムなどを巻きつけておくと、漏れが少なくなります。アルミテープなどで継ぎ目部分を貼り付ける事も、漏れを防ぐのに有効な手段です。

⚠ **安全に関するご注意**／ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、性能・寸法など改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 TEL(03)3777-4101(代) FAX(03)3777-3328

札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL(011)821-0630(代)	FAX(011)821-0949
仙台営業所	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町 2 丁目 2 番 44 号	TEL(022)232-4743(代)	FAX(022)232-4756
東京営業所	〒143-0025 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-3171(代)	FAX(03)3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL(052)795-0222(代)	FAX(052)795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL(06)6971-5301(代)	FAX(06)6974-0497
広島営業所	〒733-0833 広島市西区商工センター5 丁目 3 番 5 号	TEL(082)278-5341(代)	FAX(082)278-5310
福岡営業所	〒816-0088 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL(092)581-5477(代)	FAX(092)581-6524

R100 古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

200607 EXT002S